

令和8年度 社会科 第2学年 指導・評価計画

学期	題材名	教材名	評価の観点			評価規準	主な評価方法	主な評価基準 (おおむね満足できる B)
			知識技能	思考判断表現	態度			
1	【第3部第1章】 身近な地域の調査 【第3部第2章】 日本の地域的特色	○ 地形図 ○ 自然環境 ○ 人口 ○ 資源・エネルギーと産業 ○ 交通・通信	○	○	○	・左の各項目について、日本の地域的特色を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、基礎知識を基に、多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考査 授業課題の内容 ワークシートの内容 小テスト 発表の内容	・左の各項目について、日本の地域的特色を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、基礎知識を基に、多面的・多角的に考察し、その結果や過程を適切に表現することができる。
	【第4章（近世）】 武家政権の展開と世界の動き	○大航海によって結びつく世界 ○戦乱から全国統一へ ○武士による全国支配の完成 ○天下泰平の世の中	○	○	○	・ヨーロッパ諸国の海外進出、織田信長や豊臣秀吉の統一事業をもとに近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめている。 ・江戸幕府の政治および産業の特色や、中世から近世への転換のようすを多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考査 授業課題の内容 ワークシートの内容 発表の内容	・ヨーロッパ諸国の海外進出、織田信長や豊臣秀吉の統一事業についてその経緯を理解できる。  ・江戸幕府の政治および産業の特色や中世からの近世への変化について資料を活用しながら考察し、適切に表現することができる。
2	【第4章（近世）】 武家政権の展開と世界の動き	○社会の変化と幕府の対策	○	○	○	・貨幣経済の農村への広がりや自然災害などによる都市や農村の変化に着目し、近世社会の基礎が動揺していったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめている。	定期考査 授業課題の内容 ワークシートの内容 発表の内容	・社会の変動、幕政の改革、新しい学問・思想の動きなどから、近世社会の基礎が動揺していったことについて理解できる。
	【第5章（近代）】 近代国家の歩みと国際社会	○欧米諸国における近代化 ○開国と幕府の終わり ○明治政府による近代化の始まり	○	○	○	・欧米諸国のアジア進出と関連づけて、幕府が対外政策を転換して開国したこと、その政治的及び社会的な影響を理解しているとともに諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめている。 ・明治政府の諸改革の目的や近代化のもたらした影響に着目し、事象を相互に関連付けるなどして、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考査 授業課題の内容 ワークシートの内容 発表の内容	・欧米諸国のアジア進出と幕府が対外政策を転換して開国したこと、その政治的及び社会的な影響について理解できる。  ・近代社会の変化の様子について明治政府の諸改革の目的や近代化のもたらした影響に関する資料を活用しながら考察し、適切に表現することができる。
	【第3部第3章】 日本の諸地域	○九州地方 ○中国・四国地方 ○近畿地方 ○中部地方	○	○	○	・日本を7つの地域に区分し、それぞれの地域について、①自然環境、②歴史的背景、③産業、④環境問題や環境保全、⑤人口や都市・村落、⑥生活・文化、⑦他地域との結びつきのいずれかの視点に注目して地域的特色をとらえようとする。	定期考査 授業課題の内容 ワークシートの内容 小テスト 発表の内容	・左の①～⑦までの考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目し、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、その過程や結果を適切に表現することができる。
	【校外学習】	○校外学習	○	○	○	・調査地域の史跡、文化遺産、自然に触れ、日本の地理、歴史や文化への理解を深める。	授業課題の発表・内容	・事前学習、当日、事後学習を通して、左の項目について、基礎知識を基に、多面的・多角的に考察し、その結果や過程を適切に表現することができる。
3	【第5章（近代）】 近代国家の歩みと国際社会	○近代国家への歩み ○帝国主義と日本	○	○	○	・新政府による外交、大日本帝国憲法と帝国議会の成立に着目し、外国との関係や現代との政治のつながりについて、事象を相互に関連づけるなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考査 授業課題の内容 ワークシートの内容 発表の内容	・外国との関係や現代との政治のつながりについて、新政府による外交、帝国議会の成立などにかかわる資料を活用しながら考察し、適切に表現することができる。

	<p>【第3部第3章】 日本の諸地域</p>	<p>○ 関東地方 ○ 東北地方 ○ 北海道地方</p>	○	○	○	<p>・2学期に同じ</p>	<p>・2学期に同じ</p>	<p>・2学期に同じ</p>
	<p>地域の在り方</p>	<p>○ まとめる ○ 発表する</p>	○	○	○	<p>・地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、ここで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>	<p>定期考査 授業課題の内容 ワークシートの内容 小テスト 発表の内容</p>	<p>・観察や調査の結果をまとめる際には、地図や諸資料を有効に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりすることができる。</p>